

⚠️ 警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



⚠️ 警告



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

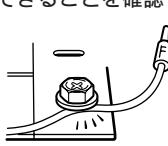
本機はDC12Vマイナスアース車専用です

本機に付属の電源コードを、大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシートレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

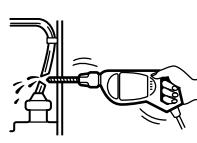
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えててしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

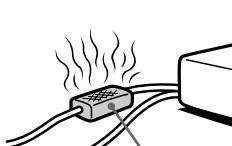
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり

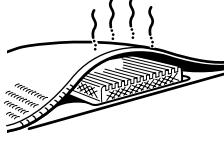
自動車に損害を与えたことがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



SONY®

コンパクトディスクプレーヤー

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。

⚠️ 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

COMPACT
DISC
DIGITAL AUDIO

CSX-300

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してみてください。下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
CDが入らない。 CDを入れてもすぐ出てくる。	すでに別のCDが入っている。 CDを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル面を上にして入れる。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	ディスクがひどく汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。→ 他のディスクを再生してください。 本機の取り付け角度が20°をこえている。
メモリーの内容が消えてしまった。	動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。→ 接続を確認してください。
スペアナが全く振れない	[+], [-] を押して、スペアナの振れ幅を調節してください。 マスターユニットのフェーダーを調節してください。
電源が入らない。	接続コネクターが確実に挿入されていない。→ 接続を確認してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間に修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、お買上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

主な特長

CDプレーヤー部

- ・CDをクリアに演奏できる8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター。
- ・アダプターなしで8cmCDの演奏が可能。
- ・強い振動で音とびが起っても、すぐに同じところから演奏を続けるクイックリカバリー機構。

接続したマスターユニットを使って次のような機能を使うことができます。

- ・CD内の各曲の最初の10秒ずつを順に聞くことができるインポート演奏機能。
- ・演奏中の曲やCD内のすべての曲を繰り返し演奏するリピート演奏機能。
- ・CD内の曲を順不同に演奏するシャッフル演奏機能。
- ・カスタムファイル機能付きのマスターユニットとの接続で、カスタムファイル機能に対応。
- ・プログラム機能付きマスターユニットとの接続で、プログラム機能に対応。

スペクトラムアナライザーパー

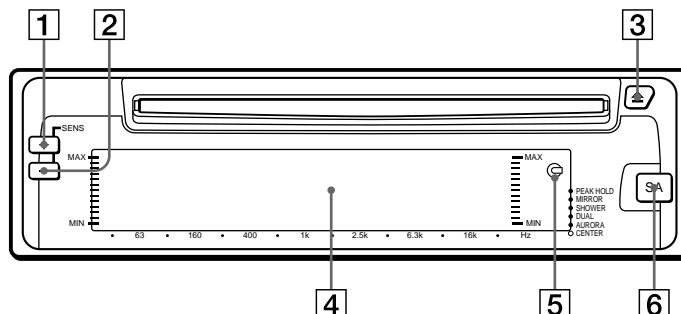
- ・刻々と変化する音声信号レベルを、リアルタイムで表示する15バンドスペクトラムアナライザ。
- ・車内を鮮やかに演出する6種類のスペアナ表示パターン。

その他

- ・照明色の切り替えはマスターユニットと連動。
- ・ディスプレイの明るさの切り替えはマスターユニットと連動。(ディマー機能のあるマスターユニットと接続した場合。)
- ・CDチェンジャーをダイレクトに接続できる、マルチCDシステム対応のソースセレクター機能内蔵。

接続するマスターユニットによっては使用できない機能があります。くわしくはマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえ



- ① [+] (レベル調節) ボタン
② [-] (レベル調節) ボタン
③ ▲ (CD取り出し) ボタン
④ 表示窓
⑤ ディスクインジケーター
本機にディスクが挿入されているときに表示します。
⑥ SA (スペクトラム表示パターン切り替え) ボタン

ご注意

本機の取り扱い

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがあります。故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

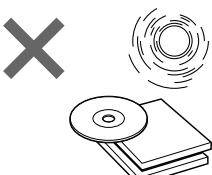
CDの取り扱い

コンパクトディスクの汚れや、ゴミ、キズ、ぞりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



お手入れ

再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にコンパクトディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままで、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合はアフターサービスをお申しつけください。

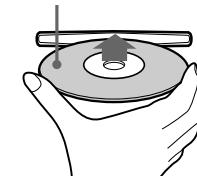
操作

CDを聞く

1 CDを入れる。

ディスクが引き込まれ、最初の曲から演奏が始まります。
8cmCDの場合はアダプターを付けずに挿入してください。

レベル面を上に



2 マスターユニットで音量を調節する。

すでにディスクが入っているときは
マスターユニットのCDボタンを押す。または、SOURCEボタンでCD再生に切り換える。

最後の曲の演奏が終わると

1曲目の頭から演奏が再開します。

チェンジャーが接続されているときは、次のチェンジャーのディスクの再生に切り替わります。

ご注意

- すでにディスクが入っているときに、別のディスクをディスク挿入口に入れないと故障の原因になります。
- レベル面を下にしてディスクを差し込むと、傷つくことがあります。

演奏を止める

接続したマスターユニットのOFFボタンを押す。

再びマスターユニットのCDボタンまたはSOURCEボタンを押すと、同じところから演奏が始まります。

本機の [] を押す。

ディスクが出てきます。

この時、出てきたディスクをそのままディスク挿入口に放置しておくと、ディスク保護のため約15秒後に自動的に本機内に引き込まれます。

ディスクを取り出す

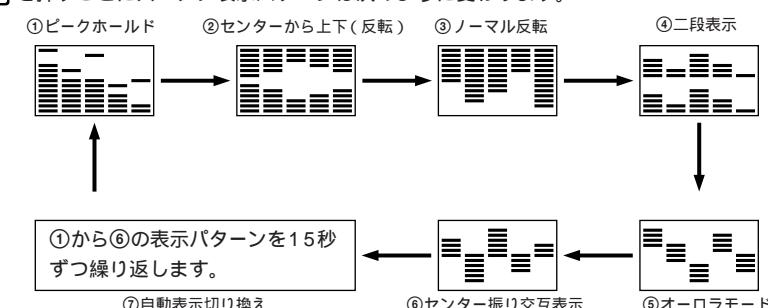
本機の [] を押す。

スペアナの表示パターンを変える(スペアナ表示モード)

[SA] を短く押す。

表示パターンが変わります。

[SA] を押すごとにスペアナ表示パターンは次のように変わります。



スペアナの振れ幅を変える(入力感度切り換えモード)

[+]、[-] でスペアナの感度を切り換える。

スペアナの感度は4段階に切り換えることができます。(バー表示が高くなるほど感度は高くなります。)スペアナの振れ幅は、マスターユニットのVOLUME(出力)に連動して変化します。

主な仕様

CDプレーヤー部

復号化(D/A)	1 bitキャッシュ方式
ワウフラッター	測定限界以下
S/N比	100dB
周波数特性	5Hz~20,000Hz

取付寸法

約178×50×149mm

(幅/高さ/奥行き)

約1.4kg

取り付け/接続部品(一式)

取扱説明書(一式)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

保証書(1)

バスケーブル(RCAピンコード付き)

RC-61(1m) RC-62(2m)

RCAピンコード

RC-63(1m) RC-64(2m)

RC-65(5m)

電源部、その他

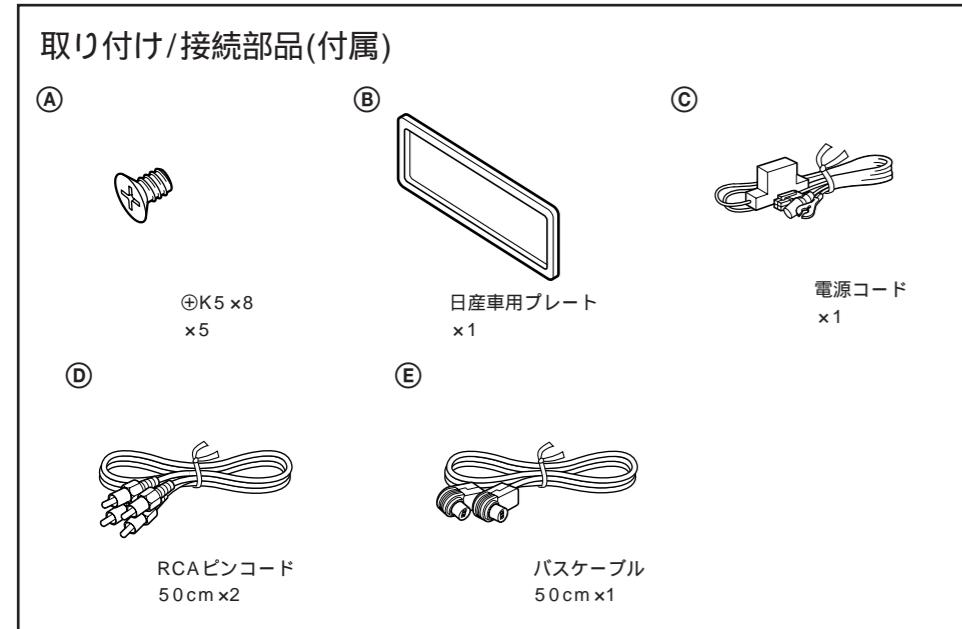
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
消費電流	2A (ディスクローディングまたはイジェクト時)
使用温度範囲	10°C~+50°C
出力端子	バスオーディオ出力端子 バスコントロール出力端子 音声出力端子
入力端子	バスオーディオ入力端子 バスコントロール入力端子 音声入力端子
本体寸法	約178×50×165mm (幅/高さ/奥行き)

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取り付け

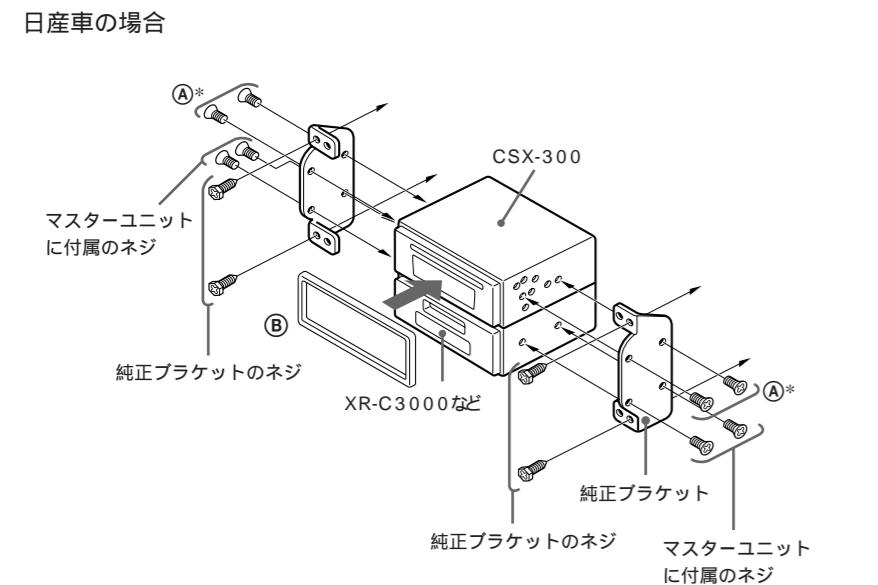
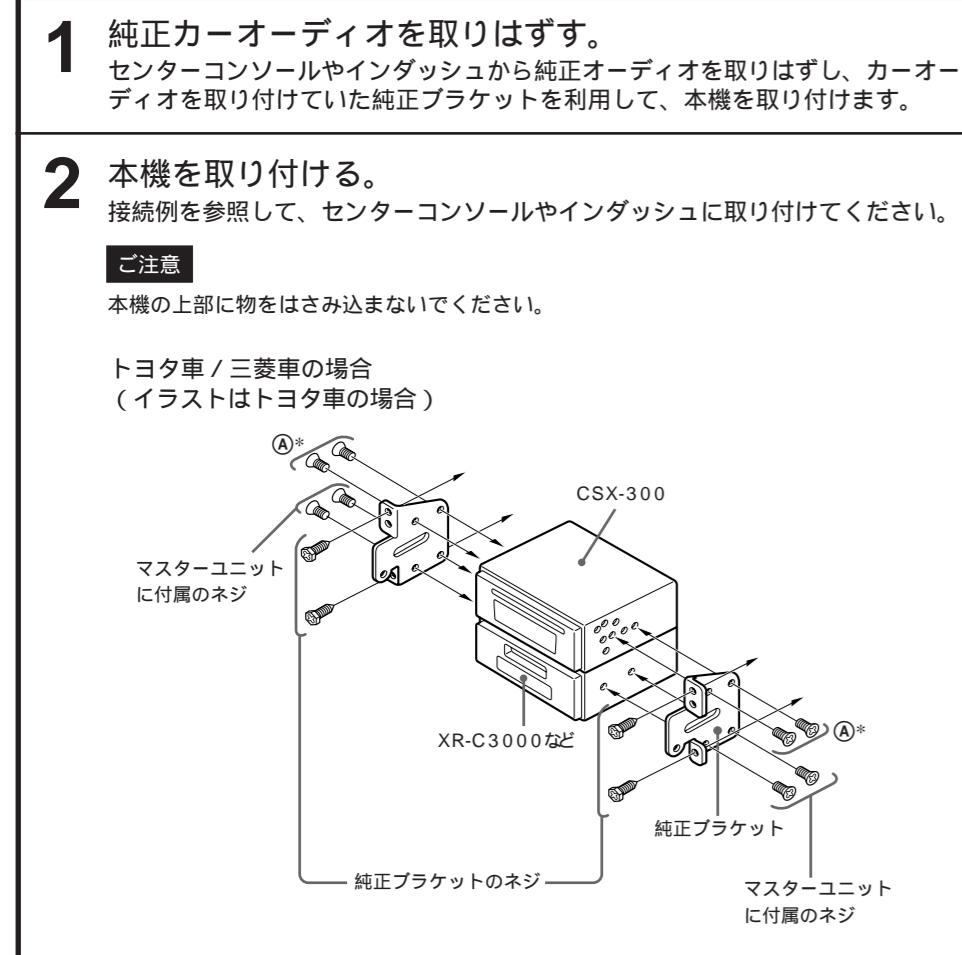
センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオをはずして、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。



ご注意

純正プラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT（トヨタ車／三菱車用）、N（日産車用）マークにプラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の皿ねじⒶで取り付けてください。



* 付属の皿ねじⒶで取り付けてください。他のねじを使用すると故障の原因となります。

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ヒューズ

電源コードの中間にヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

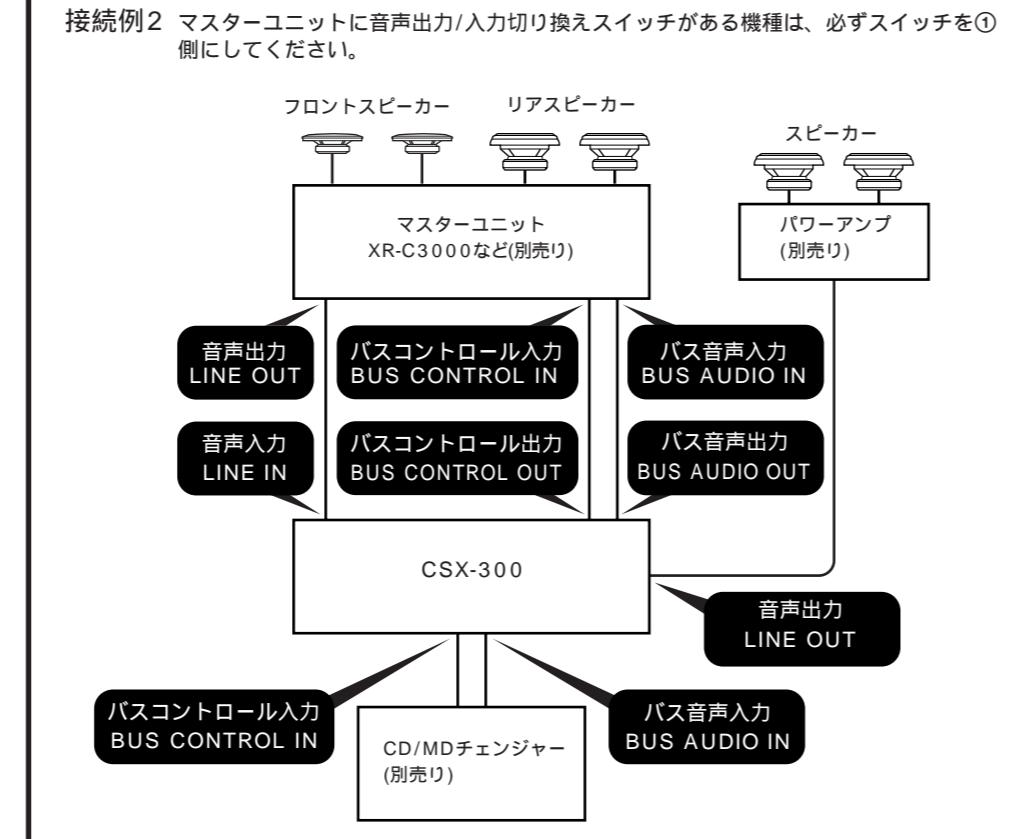
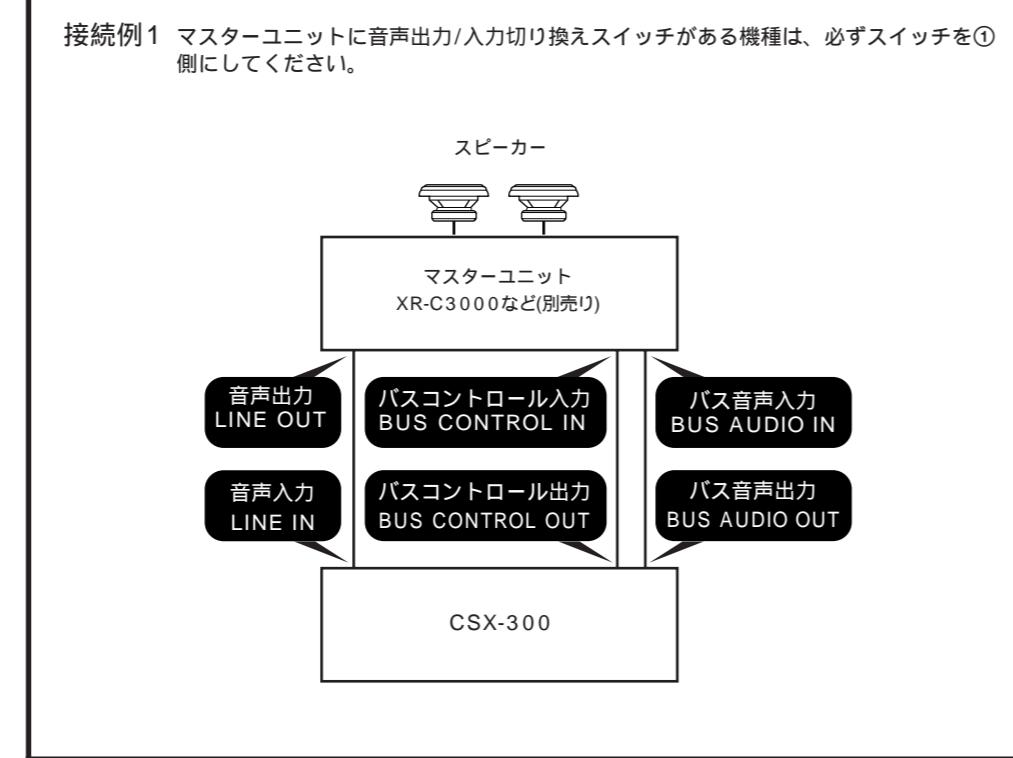
ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。
万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

取り付けと接続が終わったら

ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
マスター単位のリセットボタンを押してください。そのまま使用すると誤動作の原因となります。

システム接続例



接続例2の場合

